

シートカバーの高度縫製加工の実現で 生産性と収益が向上

課題

新規需要に応える 生産性の向上

人口減少、高齢化といった構造的な問題を抱える日本では、自動車産業が大きな変化を迎えている。国内の販売台数の減少をはじめ、グローバル需要の成長鈍化、電動化の急速な普及、自動運転の導入、カーシェアリングの進展などにより、長期的にはこれまでの日系完成車メーカーの優位性が減衰していく懸念も考えられている。

一方、自動車を構成する内装部品に大きな変化はなく、長期的な安定需要が見込まれている。また、個々のニーズに合わせた車内の快適性や高級志向は、より強まるものと推測されている。現在、日本車の売れ行きをカテゴリー別に見ると、もっとも販売比率が高いのは軽四輪車である。今は新車として売られる車の約35%が軽四輪車になり、新型車の発売タイミングなどによっては40%近くに達する。

シートカバーなどの自動車内装部品の縫製加工を手がける田島縫製株式会社は、日本でもっとも売れている「N-BOX」を筆頭としたHONDA向け自動車シートカバーを受注しているが、新規に立ち上がる車種の受注を受け、生産性の強化が課題となっていた。

こうした需要に対する生産性の向上を早急に実現するため、同社は千代田町商工会に相談を行った。

支援

自社分析で職人技の 強みを強化

同社の強みは、会社設立から50年以上もの長い歴史をもつ裁断や縫製の膨大な技術とノウハウだ。高い技術力をもつ職人が在籍し、クオリティ・コスト・デリバリーにおいて同業他社にない競争力をもっている。

同業他社が為替相場のリスクヘッジと安価な労働力を求めて海外進出しているなか、同社は「従業員の雇用を守る」という考えで国内生産に特化してきたことで、熟練した職人の確かな技術による自動車シートカバー張替（リフォーム）の分野でも高く評価されている。

こうした同社の強みを最大限活かしながら生産性の向上を図るため、商工会では各種経営分析などの支援を行った。

また、HONDAの生産が純増となり、現在の生産能力では対応できないため、今後の受注量と生産能力を数値化したう



同社製品の自動車シートカバー

えで、新規でNC裁断機の導入提案と、ものづくり補助金の申請支援も行った。

こうした支援により、自社の生産能力と受注量を比較して分析を行えたことが大きな効果であったといえる。裁断機の導入は年内を予定しているが、安定稼働や計画値と実績値の比較を行いながら、経営計画に沿った支援を引き続き行っていく。

支援の経過

期間	支援内容
H29年	ものづくり補助金の申請支援
H30年	ものづくり補助金の申請支援
〃	経営革新申計画の申請支援
〃	先端設備導入計画の申請支援

会社概要

会社名：田島縫製株式会社
 住所：群馬県邑楽郡千代田町上五箇246
 電話番号：0276-86-2313
 URL：http://tajima-sewing.co.jp/
 代表者名：代表取締役 田島壽宏
 創業年月：昭和38年
 年間売上高：15億6345万円(平成29年)
 従業員数：114名
 商工会名・担当者名：千代田町商工会・北村健二